

## ボツワナ

### 主要データ

国名〔英名〕	ボツワナ共和国〔Republic of Botswana〕
面積(km <sup>2</sup> )	581,730
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	2.2
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	3.7
GDP(十億 US\$)	15.77
一人当り GDP(US\$)	7,407.11
主要鉱産物：鉱石	銅、ニッケル
主要鉱産物：地金	銅、ニッケル
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー・水資源省(Ministry of Minerals, Energy and Water Affairs)
鉱業関連政府機関	地質調査所(Department of Geological Survey)
鉱業法	Mines and Minerals Act(1999)
ロイヤルティ	貴石 10%、貴金属 5%、その他鉱物：3%(売上高に対して賦課)
外資法	Foreign Investment Code(2001)
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境影響評価法(Environmental Impact Assessment Act(2005))
鉱業公社	Bamangwato Concessions Ltd (BCL)
鉱業活動中の民間企業	Norilsk Nickel、Messina Copper、Discovery Metals 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2014年のトピックス	Norilsk Nickel は Tati ニッケル鉱山を 2014 年 10 月に BCL 社に売却することで合意し、2015 年 4 月に売却が完了

### 1. 鉱業一般概況

ボツワナの鉱業は、輸出収入の約 8 割を占めるダイヤモンドに集中しているが、銅、ニッケル等についても規模は小さいものの徐々に生産を拡大している。同国北部のカラハリ・カッパーベルトでは、Boseto 銅・銀鉱山及び Mowana 銅鉱山が操業を行っている他、Ghanzi 銅プロジェクトが現在 FS 調査を実施している。この他コバルト、白金族、石炭、ソーダ灰、塩類、金及び銀が生産されている。また近年では、2,000 億 t 以上の石炭資源があると推定されており、政府は外国投資を積極的に呼びかけている。なお、Fraser Institute による Investment Attractiveness Index (2014) では、同国は鉱業投資環境の優れた国として 122 カ国中 26 位とアフリカの中では非常に高い位置にランキングされている。

政府は、ダイヤモンド鉱業への依存体制を脱し国内産業の多角化を図るため、製造業、金融業、観光業の振興策を推進しており、鉱業セクターが GDP に占める割合は 2006 年の 46%から近年は 3 分の 1 にまで低下している。現在は 2016 年までの持続的な経済成長を目的とした第 10 次国家開発計画が進められており、この中には鉱業における高付加価値化や下流部門の強化なども含まれている。

### 2. 鉱業政策の主な動き

鉱業法(Mines and Minerals Act 1999)では、政府がプロジェクト会社の株式を最大 15%まで購入できる規定があるが(ダイヤモンドの権益比率については政府との交渉による)、実際に本規定が発動さ

れるかどうかはプロジェクトによって異なる。なお、高付加価値化政策により、製錬事業及びその他製造業関連事業に関しては法人税は低減され、0%から15%の範囲で交渉される。なお、2015年5月には、コモディティ価格が低迷する状況を受けて、銅生産者の支援を目的に3%のロイヤルティの支払いを1年間猶予させると Kitso Mokaila 鉱物エネルギー水資源大臣が発表したと報じられた。鉱山の操業停止により多くの失業者が出る事態を懸念しての救済措置とみられる。

**表 2-1. 鉱業法 (Mines and Minerals Act 1999) の税制概要**

種類	内容
ロイヤルティ	貴石：10%、貴金属5%、他の鉱物：3% (売上価格に対して賦課)
変動的法人税率 (VITR: Variable Tax Rate)	計算式により、25%~55%間で変動
資本控除	資本支出の100%が減価償却可能
損失の繰越	繰越可能
配当の源泉課税	配当の15%
輸入関税	鉱業で用いられる資機材は関税免除
付加価値税	原則10% (鉱産物の輸出を含む)。再輸入から6ヶ月以内であれば付加価値税 (VAT) の払い戻しが可能。
金属加工業 (切削、研磨、製錬) への課税	税率15% (基本税率5%と追加税率10%)

### 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

#### (1) 主要金属鉱石生産量

**表 3-1. 金属鉱石生産量**

鉱種	2012年(t)	2013年(t)	2014年(t)	対前年増減比(%)	世界シェア(%)	ランク
ニッケル	17,948	22,848	14,952	-34.6	0.7	18

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2015)

#### (2) 主要金属地金生産量

データなし

#### (3) 主要金属消費量

データなし

#### (4) 主要金属輸出货量

**表 3-2. 金属輸出货量**

鉱種	2012年(t)	2013年(t)	2014年(t)	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
銅鉱石	60,792	94,871	-	-	南ア、スイス
ニッケル鉱石	0.1	22.9	-	-	南ア

(出典: Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 3-3. 金属輸入量

鉱種	2012 年(t)	2013 年(t)	2014 年(t)	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
鉄鉱石	63.9	482.1	-	-	南ア
鉛鉱石	5	32.1	-	-	南ア
銅鉱石	0.01	31.6	-	-	南ア
チタン鉱石	0.15	19.7	-	-	南ア

(出典 : Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量	備考
Selebi-Phikwe 鉱山	BCL(100)	ニッケル、銅、コバルト	-	
Tati (Phoenix) Nickel 鉱山	BCL(85) (2015 年 4 月に MMC Norilsk Nickel が売却) ポツワナ政府(15)	ニッケル(t) 銅(t) パラジウム(千 oz) プラチナ(千 oz)	3,207 2,475 18 3	2014 年生産量
Mowana 鉱山	African Copper Plc (100)	銅(t)	9,951	2014 年生産量
Boseto 鉱山	Discovery Metals Ltd (100)	銅(千 t) 銀(千 oz)	18.7 62.8	2013 年生産量 フル生産: 銅 36 千 t/年、銀 34t/年
Thakadu/Makala 鉱山	African Copper Plc (100)	銅、金、銀	-	

(出典 : 各社 HP 等)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量	備考
Selebi-Phikwe 製錬所	BCL(100)	ニッケル(千 t) 銅(千 t)	- -	

(出典 : 各社 HP 等)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

## 5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	所有企業(権益比率: %)
Dibete/Takane	銅、銀	BCL(70), Botswana Metals Ltd(30)
Ophion	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)
Botswana copper	銅、銀、ニッケル、コバルト	MOD Resources Ltd(100)
Gcwihaba	銅、亜鉛、銀	First Quantum Minerals Ltd(70), Tsodilo Resources Ltd(30)
Ghantsi-Chobe	銅、銀	Khoemacau Copper Mining(100)
Kihabe-Nxuu	亜鉛、鉛、銀、銅、バナジウム	Mount Burgess Mining NL(100)
Selkirk	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ	MMC Norilsk Nickel (85), 政府(15)
Magogaphate	ニッケル、銅、コバルト、銀	Botswana Metals Ltd(30), BCL (70)
Dikoloti	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ、パラジウム	BCLMining(51), JOGMEC(35.3), Discovery Metals Ltd(13.70)
Xade JV	ウラン、ニッケル、銅、プラチナ、パラジウム	Impact Minerals Ltd(51), Manica Minerals Ltd(49)
Lekobolo	ウラン、ランタン	Impact Minerals Ltd(100)
Letlhakane	ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Bolau	石炭、ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Sese Uranium	ウラン	African Energy Resources (Guernsey) Ltd(100)
Xaudum	鉄鉱石	Tsodilo Resources Ltd(100)
Khoemacau	銅、銀	Cupric Canyon Capital LLC (100)
Matsitama	銅、銀、プラチナ、金、亜鉛、パラジウム、ロジウム	African Copper Plc (100)
Gcwihaba	ウラン、銅、バナジウム、金	Tsodilo Resources Ltd (100)
Mid Kalahari	銅、銀、	Discovery Metals Ltd (100)
South West Kalahari	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)

(出典: 各社 HP 等)

## 6. 我が国との関係

## (1) 日本への輸出

実績なし

## (2) 日本企業による投資状況等

- ・ JOGMECは、2008年7月、同国に地質リモートセンシングセンターを開設し(所在地はハバロネ市)、SADC諸国を対象にリモートセンシングを活用した鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修を実施している。
- ・ JOGMECは2009年10月に豪Discovery Metals社との間で共同探鉱契約(JV契約)を締結し、ボツワナ東部Selebi-Phikwe鉱山の周辺に隣接するDikoloti地域においてニッケル、白金族を対象とした探鉱を開始した。2014年3月にはボツワナ国営鉱山公社BCLを加えた3社で新たなJV契約を締結し、引き続き探鉱を行っている。

## 7. その他トピックス

- ・ Norilsk Nickelは2013年7月以降、ニッケル価格低迷を受け採算が悪化しているとしてTatiニッケル鉱山の操業停止を含めた事業見直し又は同鉱山の売却を検討しているとされていたが、

2014年10月にTati ニッケル鉱山のBCL社への売却を発表し、2015年4月には売却手続きを完了したと報じられた。売却額は他の南ア鉱山を含め3億~3億5,000万US\$となると推測され、Norilsk Nickelの海外資産売却額としては過去最高額となる。なお、Norilsk Nickelは2013年7月に、2016年までに海外事業及び非中核事業から完全撤退すると発表していた。

- ・ 2015年6月のメディア報道によれば、Khoemacau Copper Mining社はKalahari カッパーベルト地域のGhantsi-Chobe銅・銀プロジェクトについて、2016年以降鉱山建設を開始する。同プロジェクトの採鉱量は年間360万t、銅量5万tの見通し。Khoemacau Copper Mining社は、未開発銅プロジェクトを買収し開発後に売却することを目的に2010年に設立されたプライベートエクイティファンドであるCupric Canyon Capital社の子会社で、Cupric Canyon Capital社は英Barclays銀行の投資銀行部門が支援を行っている。なお、政府は権益15%の取得を検討しているとされる。

(2015.8.21 ロンドン事務所 竹下聡美)